

ラオス外傷データバンクの登録データを用いた臨床研究

1. 研究の対象

ラオスの救急医療施設へと交通外傷に対する治療を目的に受診された患者様

2. 研究目的・方法

研究目的:

ラオス人民民主共和国(以下、ラオス)において、交通外傷は子供や若年層の死因の上位を占め、社会的損失の大きい健康問題です。ラオスにおける外傷の診療の質を評価し、向上させることは交通外傷による死亡率を低下させるために重要です。本研究では、ラオスにおける交通外傷にかかわるデータの分析を行い、ラオスにおける各医療施設の診療の質評価や、診療行為の効果を評価するための分析を行います。施設ごとのデータを全国データと比較することにより、各施設の診療の現状を評価することが可能になり、診療の質向上に寄与することができます。さらに、診療行為の効果や診断の精度を評価し、ラオスの外傷診療システム全体の向上に寄与することが期待できます。

方法:

本研究の対象となるのは、ラオスの救急医療施設へと交通外傷に対する治療を目的に受診された患者様です。診療録などをもとに、同国のラオス外傷データバンクへとデータが登録され、個人を特定できる情報を除外した形で本施設へとデータが送られ、解析が行われます。

研究期間:

倫理委員会承認後～2024年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 受傷原因、受傷時の血圧、心拍数、呼吸数、意識レベル、病院での処置・治療内容、入院日数、死亡の有無、等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への提供については一切ございません。

5. 研究組織

筑波大学附属病院 救急・集中治療部 鈴木貴明 ほか

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

研究責任者: 筑波大学附属病院 救急・集中治療部 鈴木貴明

住所: 〒305-8576 茨城県つくば市天久保2丁目1番地1

電話: 029-853-3900 (代表) [内線 90861]

Email: takasuzuki@md.tsukuba.ac.jp